

## ロタウイルスワクチン [定期]

令和2年10月1日からロタウイルスワクチンが定期接種(無料)になります。

対象者は、令和2年8月1日以降に生まれた方が対象です。(但し、9月中に接種した場合は有償)

### 【ロタウイルス胃腸炎とは】

感染力が非常に強く、激しい下痢や嘔吐を起こします。重症の場合、入院や合併症を起こすこともあります。生後すぐに感染する場合もあるので、ワクチンの接種は、早い時期に完了させることをおすすめします。

### 【どのようなワクチン】

ロタウイルスワクチンは、飲むタイプのワクチンです。(2種類)

医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。2種類とも、効果や安全性に差はありませんが、接種回数が異なります。特別な事情がない限り、途中で種類の変更はできませんので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。どちらのワクチンも、ロタウイルス胃腸炎の発症を7~8割減らし、入院するような重症化のほとんどを予防できます。

### 【いつ接種を受けるの?】

ワクチン名	ロタリックス	ロタテック
接種時期	生後6週0日後から24週0日後まで	生後6週0日後から32週0日後まで
	※どちらのワクチンも、初回接種を、生後2か月から14週6日後までに実施します。	
接種回数	2回接種(27日以上の間隔をあける)	3回接種(27日以上の間隔をあける)
接種後、特に注意する事	どちらのワクチンも、接種後(特に1~2週間)は腸重積症(*後述)の症状に注意し、症状が見られた際には、すみやかに接種した医療機関を受診してください。	

注) ロタリックスについては、常時在庫しておりますが、ロタテックについては事前に予約が必要です。

(\*) 腸重積症：腸の一部が腸の他の部分に入り込んでしまう緊急性の高い病気です。ワクチン接種の有無にかかわらず、0歳のお子さんがかかることが多い病気です。

### 【ワクチンを接種する前】

赤ちゃんのお腹がいっぱいと、上手にワクチンが飲めない場合がありますので、接種前30分ほどは授乳を控えることをおすすめします。なお、ワクチンがうまく飲めなかったり、吐いたりしてしまった場合でも、わずかでも飲み込みが確認できていれば、ワクチンの効果に問題はありませので、再度接種する必要はありません。

### 【ワクチンを接種した後】

接種直後は、医療機関で30分ほど様子を見てから帰宅してください。ワクチン接種後2週間ほどは、赤ちゃんの便の中に、ワクチンのウイルスが含まれるので、ご家族も胃腸炎になる可能性があります。そのため、おむつ交換の後にはていねいに手を洗うなど、ご家族も注意してください。高熱・けいれんなどの異常を感じた場合は、すぐに医師の診察を受けてください。

### 【接種後、注意する子どもの様子】

■泣いたり不機嫌になったりを繰り返す ■嘔吐を繰り返す ■ぐったりして顔色が悪くなる ■血便がでる

このような症状が1つでもみられたら、腸重積症が疑われるため、すみやかに医療機関を受診してください。

※接種した医療機関とは別の医療機関を受診する場合は、必ずこのワクチンを接種したことを医師などに伝えてください。